

# 1級

## ネイリスト 実技採点基準

### 合格基準

「採点」は5点満点法で採点します。  
5点…良い  
4点…合格ラインに達している  
3点…合格には少々不足している  
2点…良くない  
1点…悪い

**【合格の基準】** ○50点満点で、38点以上（減点を反映した合計得点）  
○失格対象に該当していない  
**【不合格の基準】** ●50点満点で、37点以下（減点を反映した合計得点）  
●失格対象に該当している

### 事前審査のチェックポイント

採点項目	チェックポイント
① テーブルセッティング&消毒管理	7) 手指消毒は手の平、手の甲、指先、指間にいたるまで擦式清拭する。手に直接、噴霧(スプレー)することは禁止。但し、落とした物を消毒する際に清拭消毒を行えない場合は、試験会場という限られた現場での対応として噴霧(スプレー)しても良い。※手指消毒に関しては実技試験中の採点に含まれる。 4) 用具、用材が衛生的に処理され、品名ラベルを貼付し、正しくセッティングされていること。テーブルセッティング及び試験中は、アームレスト、ペーパータオルの上で施術を行い、認定モデルハンド、用具、用材をテーブルに直置きしないこと。※ペーパータオルは、アームレスト手前の施術スペースを覆うサイズをセットすること。 4) ウェットステリライザーには、キューティクルニッパーの刃先が浸る程度を目安に消毒液を入れ、中にキューティクルニッパー・ピンセット・ウッドスティック・メタルプッシャー等がセットアップされていること。 ※ネイルケア用具の持込可(オイル・クリーム類は持込不可)
② モデルの爪	エ) モデルの爪10本は、カラーリング、装飾が一切されていないこと。 カ) 事前にイクステンションに適したフリーエッジの長さや形に整えてよい。但し、サンディングは行っていないこと。 カ) モデルは15歳以上であり、爪及び爪周りの皮膚に疾患が認められないこと。
② 認定モデルハンドの状態	キ) 認定モデルハンドの状態について ・ JNEC認定ラベルが貼付された右手・左手の認定モデルハンドを使用すること。 ・ キューティクル周りに著しい汚れ、目立ったキズ等が無い、状態が良いものを使用すること。 ・ 認定モデルハンドは事前に認定ネイルチップが10本適切に装着されていること。(JNEC認定ルースキューティクルの貼付は禁止) ・ 事前にイクステンションに適したフリーエッジの長さや形に整えてよい。但し、サンディングは行っていないこと。 ・ 人の手と同様に丁寧に扱い、施術すること。 ・ 認定モデルハンドを固定するためのアームや吸盤等は使用禁止。 ・ 文字や線、目盛を記入した認定モデルハンドは使用禁止。 ・ 試験中、認定ネイルチップが外れた場合はすぐにつけ直すこと。認定ネイルチップが装着された状態で施術すること。(装着していた認定ネイルチップが試験会場に来る際に取れた場合は、実技試験時間内につけ直すこと。事前審査の際は認定モデルハンドと共に外れた認定ネイルチップを並べておくこと) ・ 試験終了時には全ての指を伸ばし、全ての指に認定ネイルチップが装着されていること。
③ プレスオンチップの状態	ク) ミックスメディアアート用のプレスオンチップは、カラーリング、装飾が一切されていないこと。

### 実技試験のチェックポイント

① スタイリング(スクエア・オフ)	ア) 中心から見て左右対称に仕上がっていること。 イ) サイドラインはストレートにファイリングされていること。 ウ) スクエア・オフは先端がストレートで両サイドに角がないこと。
② ハイポイントの位置	エ) ハイポイントの位置が不自然でないこと。 カ) ハイポイントが高過ぎたり、ハイポイントがなくフラットな状態でないこと。
③ フリーエッジの長さ厚みの均一性	カ) 厚さは均一であること。 キ) イクステンション7本の長さのバランスがとれていること。
④ 強度と耐久性	ク) サロンワークに適した、日常生活に対応できる程度の強度、耐久性があること。
⑤ Cカーブ20%~30%	ケ) 20%~30%のCカーブを維持し、均一であること。
⑥ キューティクルラインのスムーズさ	コ) キューティクル際に厚みの段差がなく、適度な薄さであり、スムーズであること。 サ) リフティングしていないこと。 シ) キューティクルに付着していないこと。
⑦ 表面の仕上がり光沢・気泡の状態	ス) 表面に凹凸やバブル(気泡)がない等、スムーズな仕上がりであること。 セ) 曇りがなく、仕上がりの表面に光沢が出ていること。
⑧ チップの装着状態(チップオーバーレイ、ミックスメディアアート含む)	ソ) 適切なサイズのチップを正しく装着されていること。 タ) チップオーバーレイ及びアート用プレスオンチップのカットスタイルと長さは、他のイクステンションと同様であること。
⑨ イクステンションTOTAL	チ) イクステンションの技術を総合して全体の完成度が高く、モデルの手または認定モデルハンドの扱い方が丁寧で効率的であること。また、器具の使い方が正しく、手際よくリズムカル・スピーディであること。 ※モデルの爪または認定モデルハンドにキズ・ささくれがないこと。キューティクル周りに著しい汚れキズ等をつけないこと。

⑩ ミックスメディアアート	ツ) テーマに相応しいデザインであり、色彩が豊かでデザインのバランスがとれ細密度が高いこと。 テ) 3Dアートをメインアートとし、フラットまたはエンボスを組み合わせた仕上がりであること。 ＜組み合わせの例＞ ・ 3Dアート + フラットアート ・ 3Dアート + エンボス ・ 3Dアート + フラットアート + エンボス
---------------	--